

## < 編集後記 >

いつの間にか、セミの声で目が覚める季節になりました。今年は、梅雨らしい梅雨がないまま、夏を迎えたような気がします。水不足は大丈夫でしょうか。

さて、今回のセンターニュースは、NICEの動き、新サービス紹介、解説、利用者向け講座、ソフトウェア紹介など、多くの執筆者の方から原稿をいただき、読み応えのある号になったのではないかと思います。

センターニュースの広報委員会に加わって1年ほどになりますが、毎号の委員会では、やはり、どんな記事をどなたに書いていただくかに悩みます。センターニュースの読者層というのが、今ひとつはっきり掴めていないからです。

ただ、個人的に読みたい記事なら、いくつか思い浮かびます。例えば、内藤先生連載の「続Mac OS Xの進化論」。最近Macを計算サーバとして使いたいと考えているので、そのためのさまざまなソフトウェアやノウハウを紹介していただけたら、とても参考になるだろうと考えています。

また、最近、研究室の学生が「計算科学フロンティア特別講義・並列計算特論」という講義を受講し、センターの新しいスーパーコンピュータの使い方を実習で教えてもらって、とても勉強になったと言っていました。このような講義の内容についても、連載としてセンターニュースに載せることができれば、貴重な資料になるのではないかと思います。

一般にセンターニュースのようなメディアでは、どうしても作り手からの情報発信が主となりがちですが、読者の皆様からも、「こんな記事が読みたい」というリクエストをもっと気軽に出していただけたらいいなと思います。知りたい・読みたい情報について読者の方々がセンターニュースに伝え、編集委員会ではそのような情報を持っている方を探して記事執筆を依頼し、それを紙面で読者の皆様にお伝えする。そのような情報共有の場としてセンターニュースが機能できたら面白いと思っています。今後ともよろしく願いいたします。

(Y.Y.)